

新 庄 の
二 世 帯 宅

山 形 県 新 庄 市

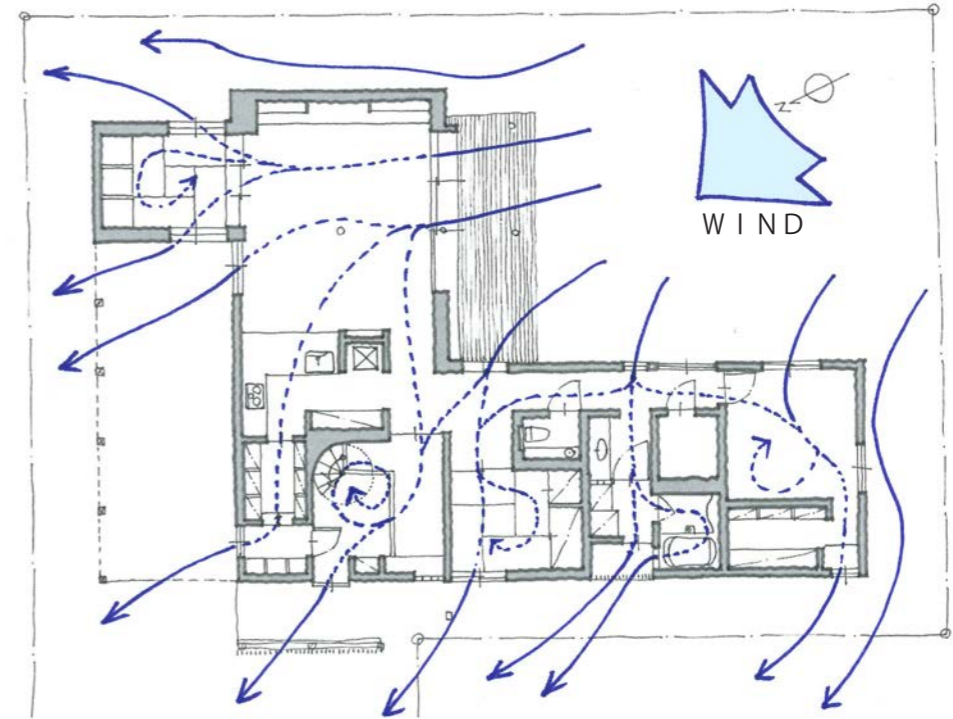


冬は人の背の高さ以上の雪が積もり、夏は盆地特有の暑さが続く山形県の新庄市。厳しくも豊かな自然環境の中に佇む、木造二世帯住宅のあり方を追求しました。





風を通す

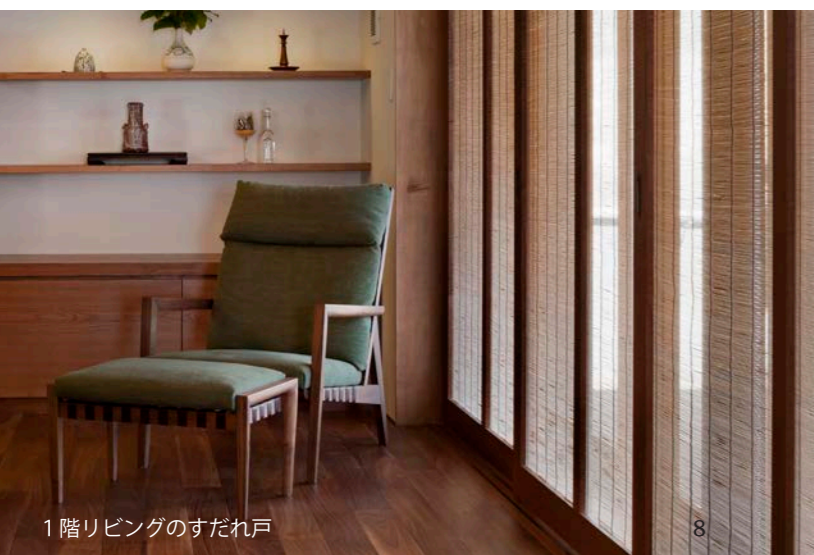


夏場と中間期において、エアコンに頼らない室内環境をつくるため、自然通風に配慮した計画としています。具体的には建物間口を5.5mで統一し、かつ風が通る方向に部屋を重ねないことで、風が抜け易くしました。

また風の入口と出口にあたる窓を必ず設け、風が抜けやすい構造としています。



中庭よりLDを見る

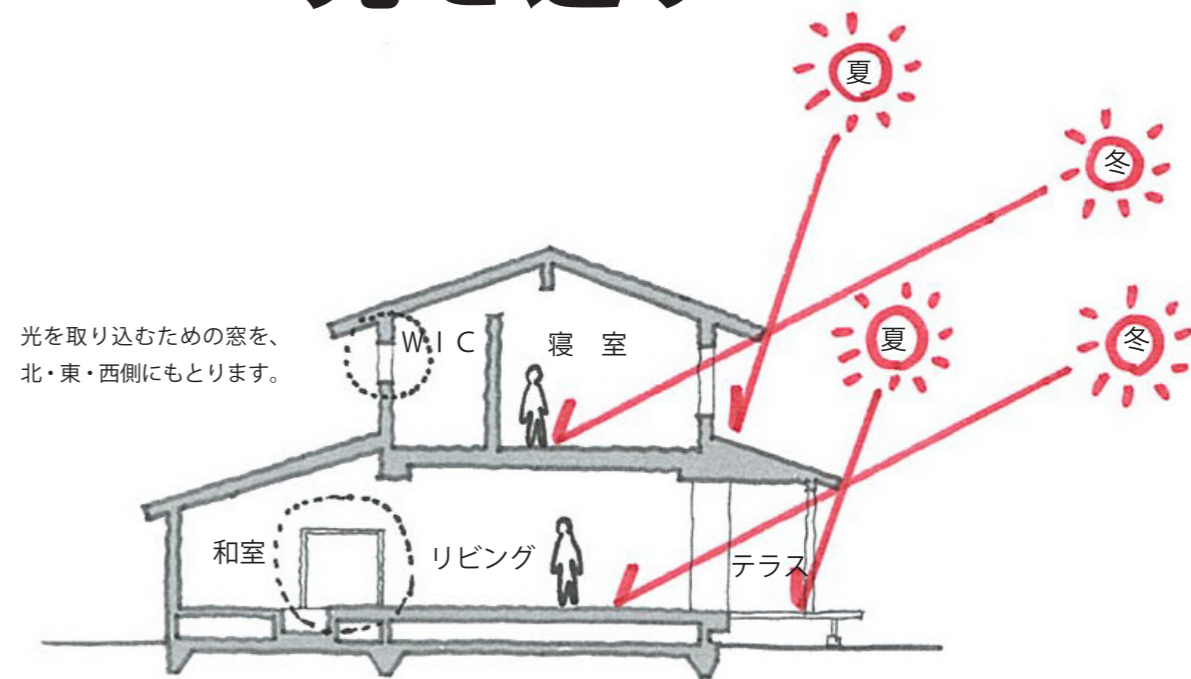


1階リビングのすだれ戸



和室-1 障子

光を通す



光を取り込むための窓を、北・東・西側にもとります。

日光は自然がもたらす豊かなエネルギーです。この住宅では、冬に採り入れ、夏は避けることによって、住環境を快適に保つ設えとしました。

1階テラスの庇は、冬と夏の太陽光角度に合わせた形状とすることで、居室に採り入れる日射量を自然にコントロールできる構造としました。また網戸を兼ねたすだれ戸や、大きな割付けの障子など、日射をコントロールする工夫を随所に盛り込んでいます。



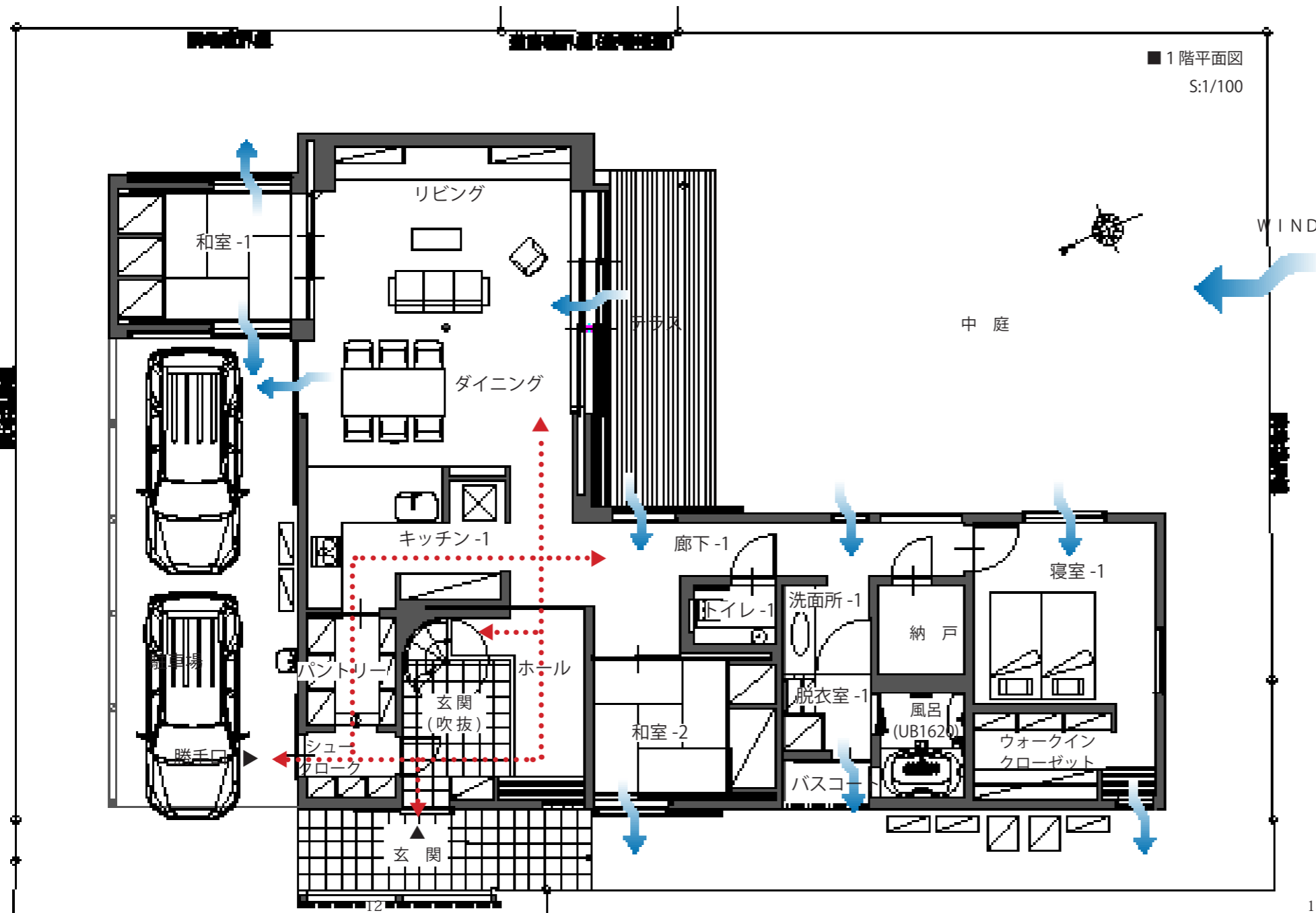
木造らしく

木で家をつくることは、日本人が古代から培ってきた世界に誇る建築文化です。また木造の文化を、その時々ライフスタイルにあわせて継承していくことも大事なことです。

今回の住宅では、そうした取り組みの一つとして、ダイナミックで美しい屋根の木架構をそのままインテリアと軒先に表し、木造の良さを肌で感じられるデザインとしています。

木の持つ力強さと、優しい風合いが建築に溶け込み、モダンな空間に調和をもたらしています。

また大きな開口窓には、木製建具を採用しています。空間に柔らかさをもたらすと同時に、結露防止にも一役買っています。



■ゆとりを与えるL字型回遊プラン

中庭を囲むL字型のプランとしました。このプランにはさまざまなメリットがあります。自分の家から自分の家が見える楽しさや、それによって持たされる家族間の交流。間口を5.5mに抑えることで得られる自然通風。そして、全ての部屋が中庭を望むことができる、豊かな住環境。効率的でありながらも、生活に様々な彩とゆとりを与えるプランとなっています。

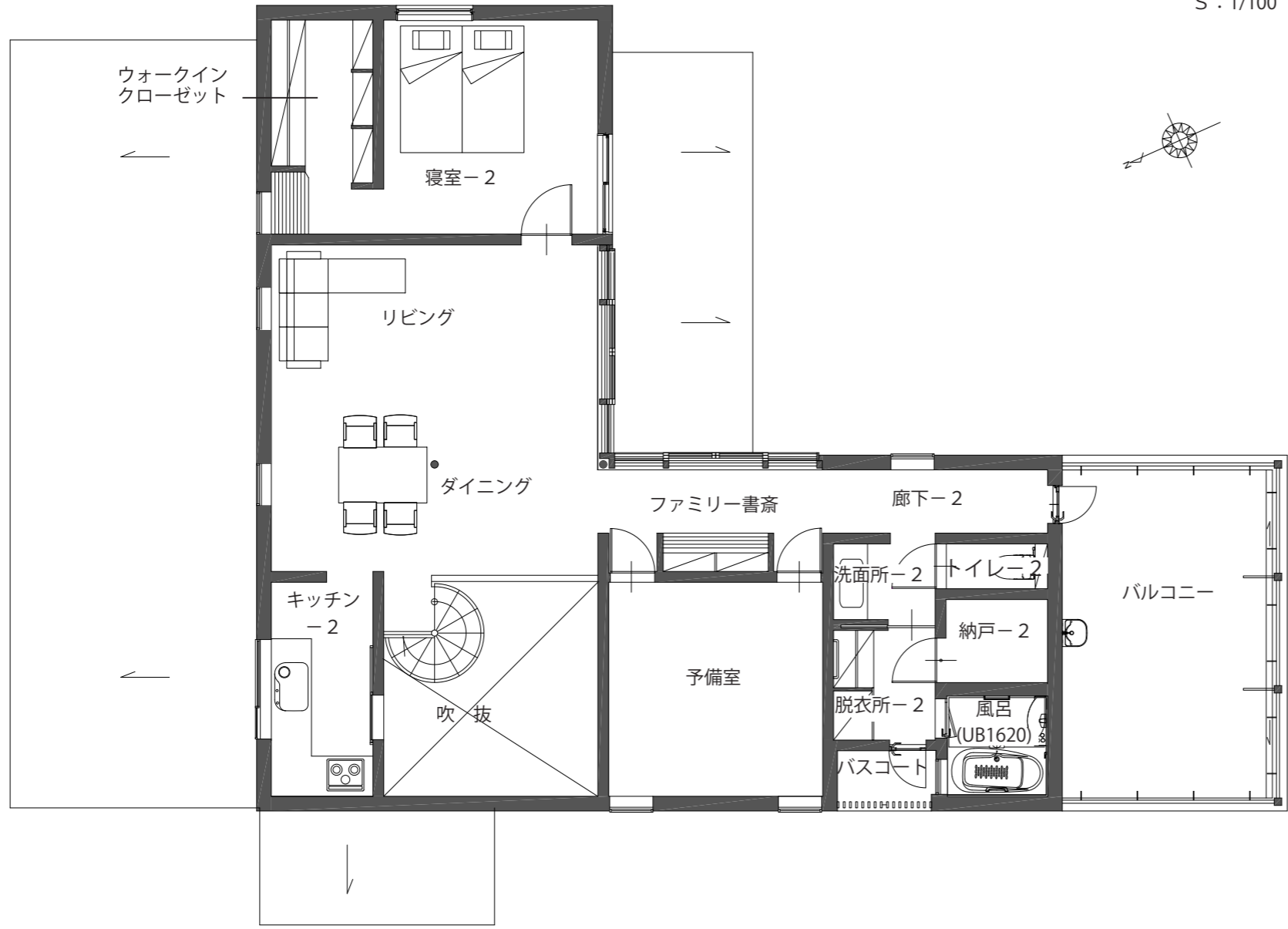
■雪国に配慮した家事動線

玄関ホール→キッチン→パントリー→シューズクロークと循環可能な家事動線をつくりました。雨や雪に濡れることなく駐車場から屋内にアクセスし、玄関を通ることなくキッチンへ行くことも出来ます。



玄関の吹抜けを中心に、キッチン、リビング、2階へと動線がつながる

■ 2階平面図
S : 1/100



2階リビングから庭を望む





西側外観



北西よりエントランスを見る



積雪に配慮し、庇とルーバーで囲われた玄関アプローチ。郵便受けを外壁にビルトインすることで、郵便物を屋内から取り込むことが可能になっています。

上下世帯の一体感を生み出す玄関ホールの吹き抜け。2階世帯は、1階世帯の生活空間を通ることなく、2階へ行くことができます。

また2階のキッチンには正方形の小窓を設け、調理しながらも玄関の出入りが確認できるように配慮しました。



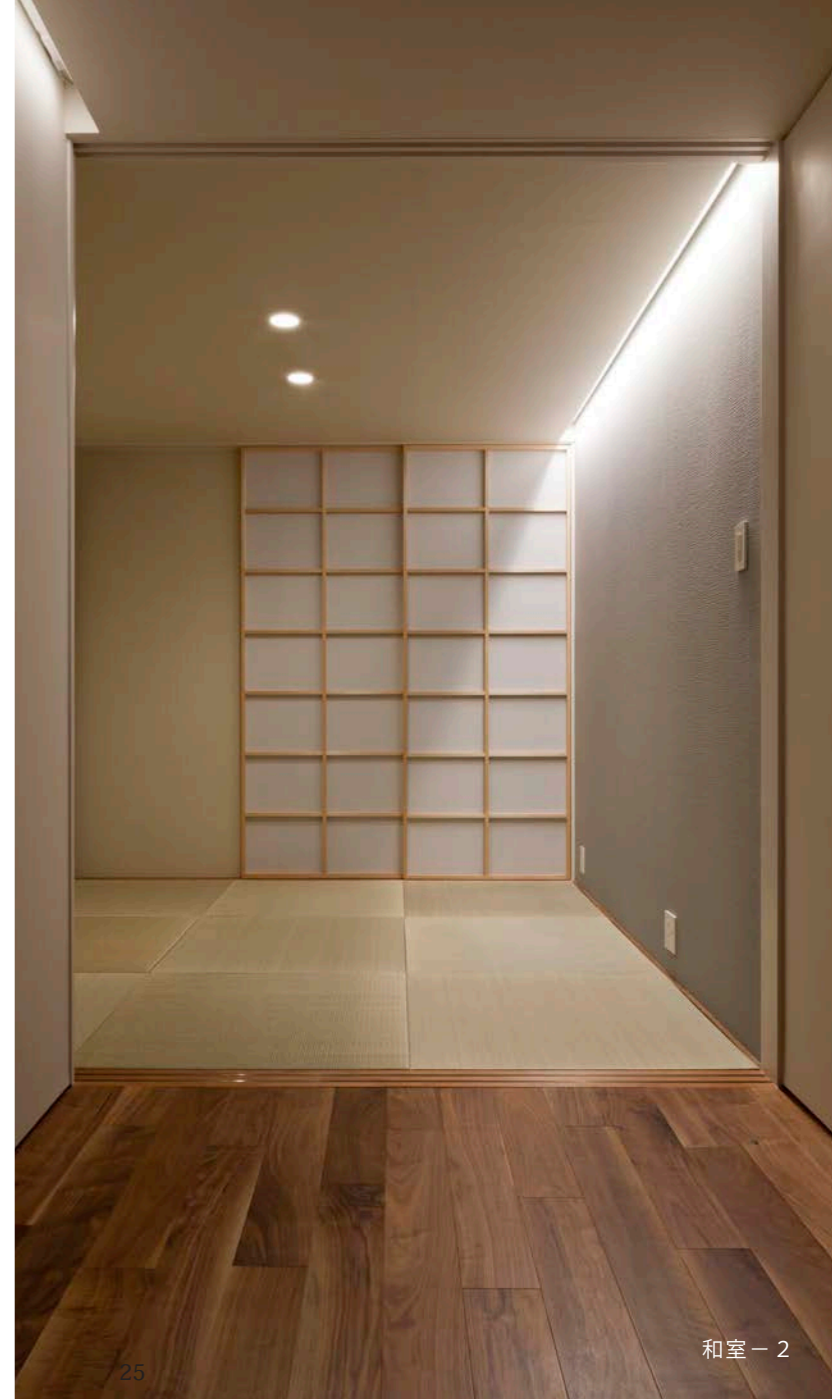




和室 - 1 地窓詳細

縦横全ての棧を見付幅 18mm に統一し、割付も大きくした "吉村障子" を採用。

和室 - 2 の障子は 2 枚引きの障子を 1 枚の障子のように見せ、すっきりとした印象を与えています。

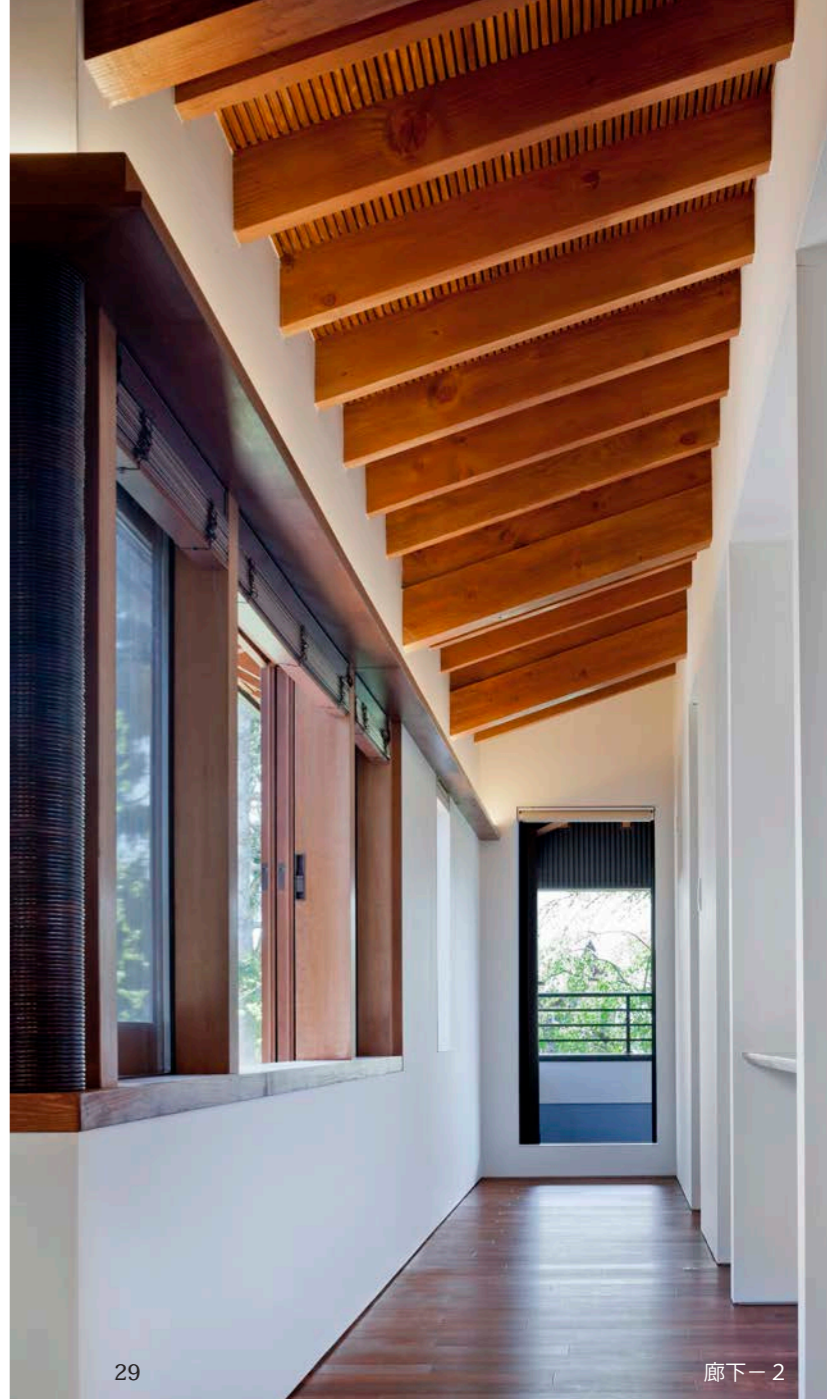


和室 - 2





寢室 - 2





2階LDからバルコニーにつながる廊下に設けられたファミリー書斎。家族の気配を感じながら、勉強や家事を行うことができるスペースです。





1階ダイニング

2世帯の家族が交流する、1階親世帯のキッチンには、ゆったりとしたオープンキッチンとしました。

子世帯が使用する2階のキッチンは、大きな開口を設けて視覚的な広がりを持たせています。



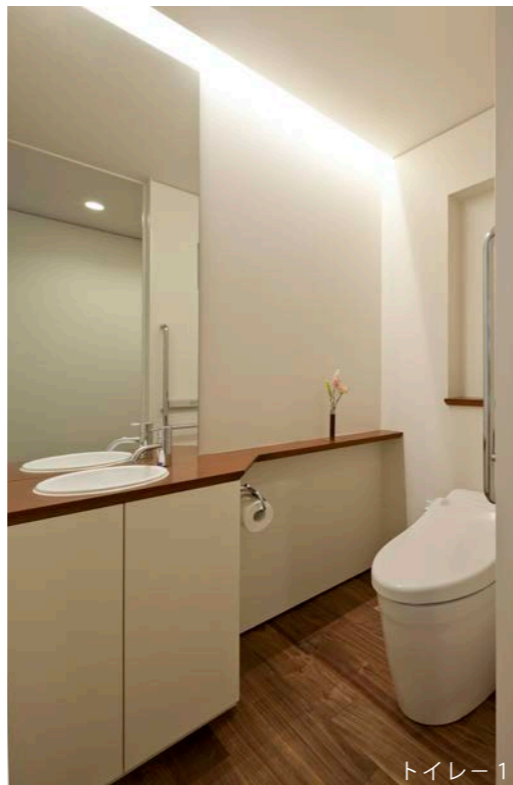
キッチン-1



キッチン-2



1階洗面所と脱衣室



トイレ1



2階の洗面所、脱衣室、バスコート

1、2階ともに脱衣室と連続した洗面スペース。自然換気を促すため、脱衣室との間仕切りを引込式としています。

また1、2階ともバスコートを設け、脱衣室のユーティリーと浴室のビューを確保しています。



2階バルコニー



■建物概要

名称	新庄の二世帯住宅
用途	専用住宅（二世帯）
所在地	山形県新庄市
設計監理	池田建築設計・(株)千歳建設
構造設計	諏訪部建築事務所
施工	(株)千歳建設
構造	木造二階建
敷地面積	924.05㎡（280坪）
建築面積	188.57㎡（57坪）
延床面積	283.27㎡（86坪）
地域地区	第一種住居地域 防火地域無指定（法22条地域）
設計期間	2011年11月～2012年5月
施工期間	2012年7月～2012年12月

■外部仕上

屋根	ガルバリウム鋼板 0.4t 平葺き
外壁	リシン吹付 / ガルバリウム鋼板角波張
開口部	木製建具 / アルミ樹脂複合サッシ

■内部仕上

1階	床：複層フローリング（ウォルナット） 壁：クロス貼り / 丸柱（籐巻） 天井：クロス貼り / リブ付縁甲板 木部：OSUC
2階	床：複層フローリング（ブビンガ） 壁：クロス貼り / 丸柱（籐巻） 天井：クロス貼り / リブ付縁甲板 木部：OSUC

■写真

梶原 敏英（造形研究所）



IKEDA ARCHITECTURE

池田建築設計

〒 231-0033

横浜市中区長者町 5-75-1 スクエア長者町 713

Tel : 045-325-9154 Fax : 045-325-9454

E-mail : info@ikeda-architecture.jp

U R L : <http://www.ikeda-architecture.jp>

© IKEDA-ARCHITECTURE 2013

